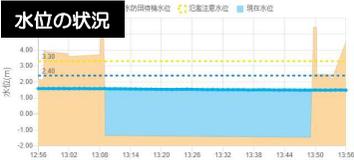


もっと詳しく知りたい方は

◆河川ライブカメラ

河川カメラ



大阪府河川室では平野川の5地点のライブカメラ画像を公開しています。スカムの発生や、河川の流況などを確認することができます。



<https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html>

◆大阪市の川・海の水質・底質



大阪市のホームページでは、市内の河川・海域の水質データや環境基準を確認することができます。

<https://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/page/0000459104.html>



◆寝屋川流域の水環境の改善



国・府・流域市で構成する寝屋川流域協議会において、これまで水環境改善に係る計画を策定し取組を進めてきた結果、水質は大きく改善されました。今後も水環境改善に向けた取組を流域全体で推進するため、後継計画として令和4年6月に寝屋川流域水環境改善計画（令和4年版）を策定し現在も取組を進めています。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenkankyo/tokusyoku/neya-mizukankyo.html>



きれいな川づくりにむけて

住民の皆様のご協力で、河川をきれいにすることができます

- 油は、台所に流さず、固めたり、新聞紙などでふき取って、ごみとして出してください。
- 生ごみや紙おむつ、水にとけないティッシュも、ごみとして出してください。
- 川や道路にごみを捨てないようにしましょう。
- ごみや砂などをまですぐに掃きこまないようにしましょう。



大阪府広報担当副知事もずやんと家族

これからもスカムをはじめとした平野川の水環境の課題解決に向け、大阪府・大阪市の関係部局*が連携して取組をすすめていきます。

*大阪府：都市整備部河川室、都市整備部下水道室、寝屋川水系改修工管所、東部流域下水道事務所
大阪市：環境局環境管理部、建設局道路河川部、建設局下水道部



本取組は、SDGsの目標のうち、「6. 安全な水とトイレを世界中に」、「11. 住み続けられるまちづくりを」、「14. 海の豊かさを守ろう」の3つの目標達成に寄与します。



お問い合わせ先 寝屋川水系改修工管所 06-6962-7663

<https://www.pref.osaka.lg.jp/neya/shokai.html>



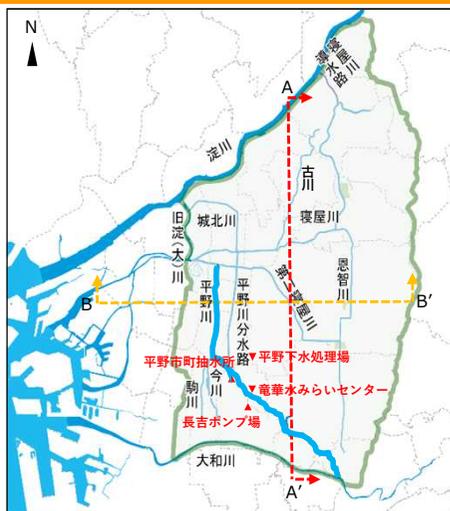
第1版：令和5年3月作成

平野川における水質・底質浄化対策

平野川流域では下水道整備や浄化用水の導入、川底に溜まったヘドロ除去の実施など、水質・底質の浄化に向けた様々な取組が行われてきました。現在でも更なる水環境改善に向けた取組を行っています。

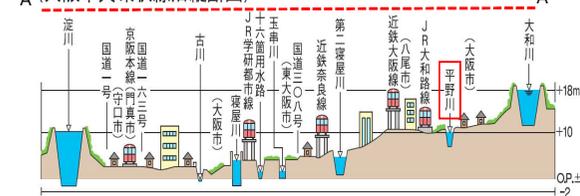
その取組の1つである浮遊汚泥（以下、「スカム」）対策について、平野川の現状を踏まえながら、大阪府及び大阪市の取組を紹介します。

平野川の特徴

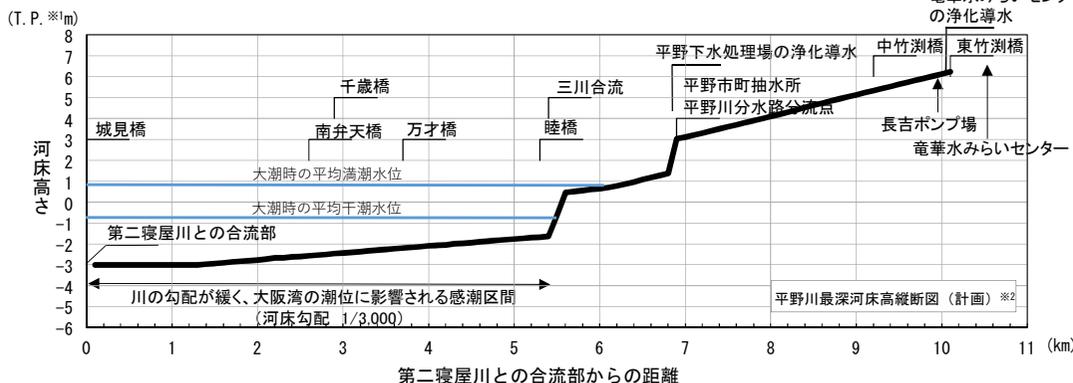
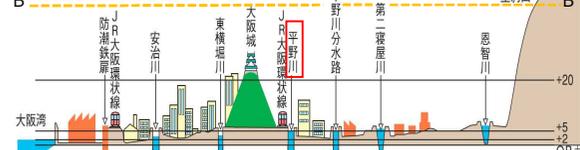


地盤高断面図

A (大阪中央環状線沿縦断面図)



B (国道308号沿横断面図)

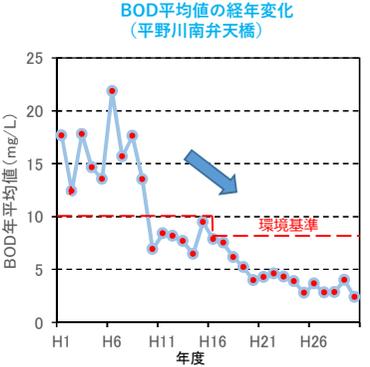
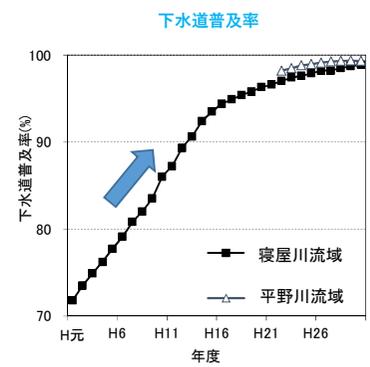
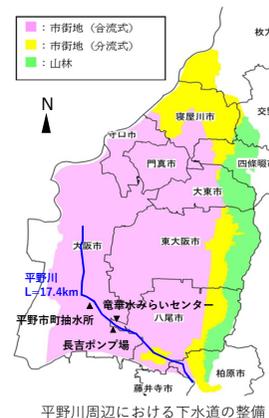


※1 東京湾平均海面の略、日本全国の土地の高さの基準
※2 平野川の各地点における河床の高さを表した図面

平野川の下流5.5kmは河床勾配*1が緩く、大阪湾の潮位に影響される感潮区間*2です。最下流部は第二寝屋川に合流しますが、勾配がなく川の流れが潮位に影響することから、河床に汚泥が堆積しやすい水質汚濁の要因となっています。そこで大和川から取水した水のほか、水質改善のため平野川中流部より、電華水みらいセンター（大阪府）や平野下水処理場（大阪市）できれいにした水を流しています（浄化導水）。大雨が降った時にはまちを水害から守るため、ポンプ場（抽水所）より雨水を平野川に排水しています。

*1 河床勾配：川の流れる方向の河床の傾き。河床勾配1/3,000の場合、下流から上流側に3,000m進んだ時に河床の高さが1mしか上昇しないことを示します。
*2 感潮区間：河川の水位や流速に海の潮汐が影響を与える区間を示します。

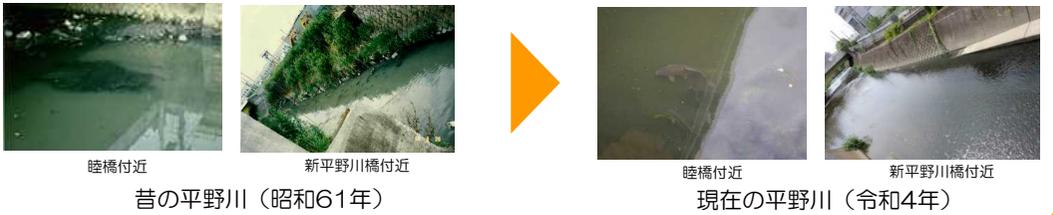
下水道の普及による河川の水質改善



寝屋川流域では、昭和40年代から急速な都市化の進展により、河川の水質汚濁と浸水被害の発生が問題となっていました。そこで、これらの問題を早期に解決するため、短期間で効率良く整備できる合流式下水道^{*1}により、下水道整備を進めてきました。その結果、現在、平野川や寝屋川のBOD^{*2}の低下など、河川の水質は大幅に改善され、また、浸水被害の軽減も進みました。

※1 合流式下水道：雨水と汚水と同じ管で排除する下水道です。早くから下水道事業に取り組んできた大都市を中心に整備されました。
 ※2 BOD：水中の有機物が微生物によって分解されるのに必要な酸素の消費量を表し、この値が小さいほどきれいな水といえます。

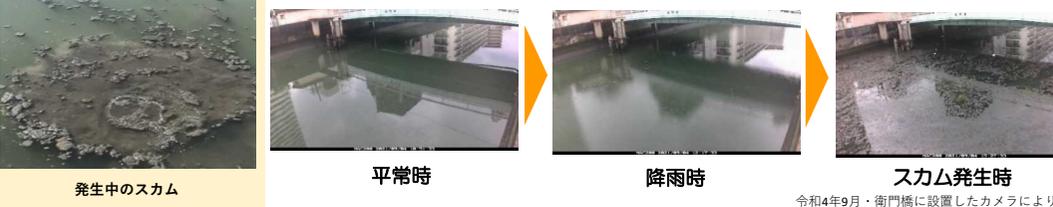
平野川の変化の様子



浮遊汚泥（スカム）について

平野川の水質は下水道の普及などにより大きく改善し、浮遊汚泥（スカム）は過去に比べると発生頻度・発生量は減少していますが、現在も降雨の後などに発生しており、悪臭や見た目の悪さが問題になっています。

スカムとは？



- スカムとは、川底に堆積した汚濁物質が、河床に生息する微生物の活動により発生するメタンガス等の浮力によって水面上浮したものです。
- スカムは季節によらず年間を通して発生していますが、降雨の発生回数が多くなる6～10月に、スカムの発生が多く確認されています。
- 降雨の1～3日後にスカムが確認されるケースが多くなっています。

平野川におけるスカムの発生メカニズムは解明されていないため、有識者に協力していただきながら調査・解析を進めていきます。

スカム対策の取組

河川の常時観測とスカム発生時の対応

スカム発生を監視するため、カメラによるモニタリングを17地点で行い、スカム発生要因と発生地点を調査しています。また、剣橋ではAI判別によるリアルタイム発生通報（スカムアラート）を行い、迅速なスカム発生の把握及び発生時対策をおこなっています。スカムは触れると崩れて沈むため、発生時の対策として小型船舶による攪拌作業を行っています。



改善・緩和策の実施

◆川底の堆積土砂の除去



平野川では、平成6年以降、下流から川底の浚渫（しゅんせつ）工事^{*}を行っており、現在は川底の堆積が多い箇所について重点的に浚渫工事を進めています。
 ※浚渫工事：河川や港湾などで水底の土砂等を取り除く工事

◆浄化用水の導入



平野下水処理場（大阪市）から平野川と平野川分水路との分流点に、きれいにした水を流しています。また、この上流に位置する竜華水みらいセンター（大阪府）からも、きれいにした水を平野川に流しています。

汚濁負荷の削減

◆ポンプ場（抽水所）雨水沈砂池



ポンプ場では、降雨終了後、雨水沈砂池^{*}に貯まった汚水混じりの雨水を、次の降雨時に河川に放流しないよう、雨水沈砂池をドライ（=空）にする施設を整備しています。（貯まった汚水混じりの雨水は、降雨終了後、下水処理場に送水し処理して、きれいにしています）

同様の対策として、平野市町抽水所でも降雨後に雨水沈砂池に雨水が溜まらないようにする工事を進めています。
 ※沈砂池：下水の中の大きごみや砂を取り除く施設